



NAKA CORPORATION

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

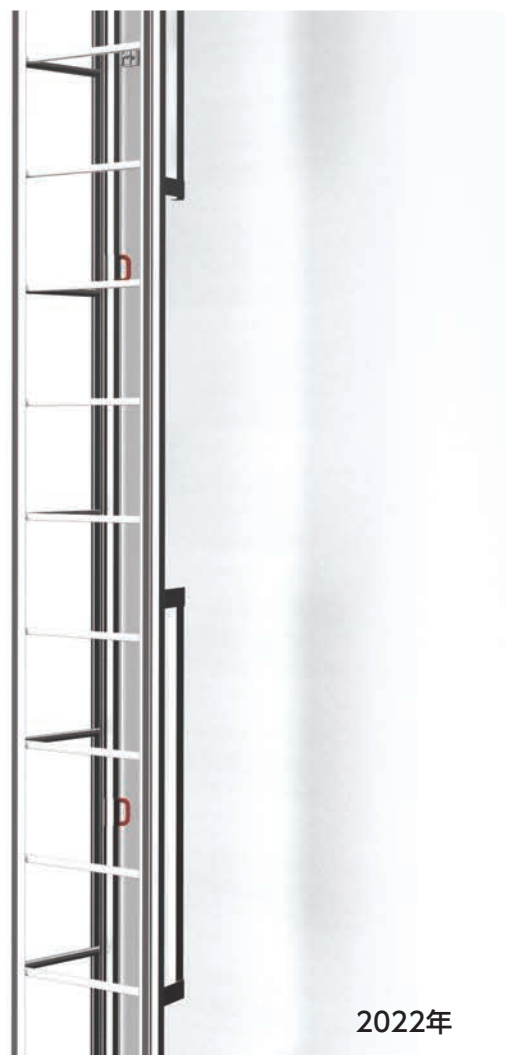
避難はしご

レスキューライン[®]

多目的はしご

MPラダー / SFラダー

避難・多目的はしご



2022年

一動作型避難はしご「レスキューラインFX」

RescueLine FX

使用方法是こちらから



新宿歌舞伎町ビル火災を契機に大幅改正された消防法令。レスキューラインはこの用途に適した小規模複合用途ビル（特定一階段防火対象物）用の一動作型避難はしごです。施工性・操作性に優れています。

- 一動作（ワンタッチ）で展張、避難可能になります。
- 直列降下方式により、多人数連続避難を実現しました。
- 外付け避難器具のため、室内空間を圧迫しません。
- 四方を囲うように展張するはしごと保護バー、固定フックで落下防止措置を講じています。
- 固定はしご方式で、危険の少ない前向き乗り降り方式を実現しました。
- 下階収納方式の採用で、収納操作が楽に。メンテナンス時の負担が軽減されます。
- 独自の構造により、壁面への荷重負荷を軽減し既存建物への施工も容易になりました。
- 収納時は縦棒と固定レールが一体化。コンパクトでスマートな納まりになっています。



▲収納時

◀展張時

型番

型番	有効長 L (m)	全長 A (m)	実質長 R (m)	適用階数の目安	重量 (kg)
FX-3R (L)	8.3	10.5	9.3	3階	約 78
FX-3.5R (L)	10.0	12.2	11.1	3～4階	約 90
FX-4R (L)	11.8	13.9	12.8	4階	約 103
FX-4.5R (L)	13.5	15.6	14.5	4～5階	約 115
FX-5R (L)	15.2	17.4	16.2	5階	約 129

- 注) 1. 右勝手、左勝手仕様があります。(型番 FX-○R は右勝手、FX-○L は左勝手を示す)
 2. 壁面、避難口 (窓) の状況によっては取付けられない場合があります。
 3. 階高は 3.5m を想定しています。建物の高さに応じた機種を選定してください。
 4. 特殊対応等については当社もしくは販売店にお問い合わせください。
 5. 避難口は引き戸または内開きとしてください。

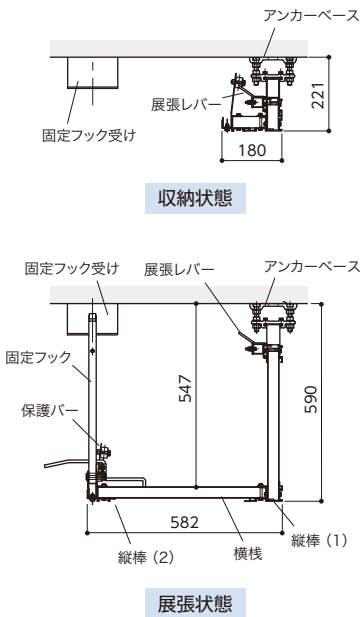
材質

アルミニウム押出型材 他 + アルマイトクリア

主要部材の機能

はしごユニット／縦棒・固定レール：避難者の重量を支持
 横棒：避難時の手掛かり足掛かりとなる
 緩降装置／はしごの展張速度を制御する装置
 展張レバー／各階に設置され、はしごの展張を開始する
 固定フック／はしごの水平移動を防止し、壁面とはしごの間隔を一定に保つ
 保護バー／避難降下時の落下防止

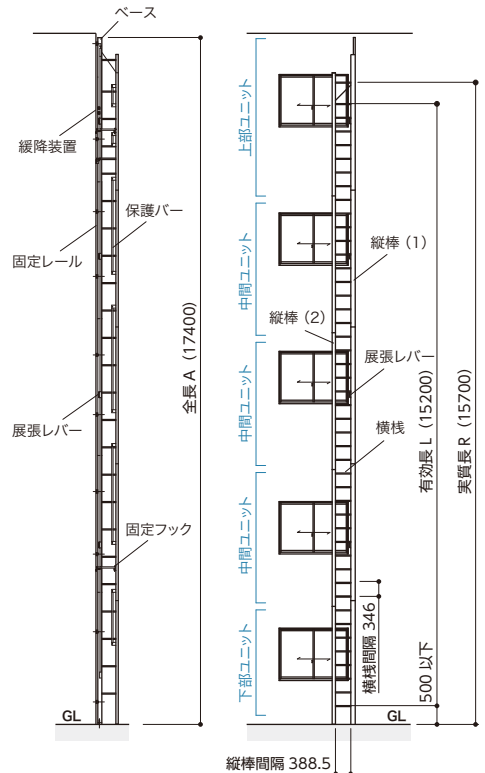
平面図



収納図



展張図



国家検定 固定はしご



FX-3R (L) は第 19～3 号 (特例検定)
 FX-3.5R (L)、FX-4R (L) は第 19～2 号 (特例検定)
 FX-4.5R (L)、FX-5R (L) は第 18～1 号 (特例検定)

日本消防検定協会検定品

本図は FX-5R タイプの例 (右勝手)

低層階用避難はしご「レスキューラインMD」 RescueLine MD

3階以下の低層階からの避難に使用可能な、収納式のアルミ製避難はしごです。簡単にはしごが展張でき即座に安全避難が可能です。軽量でコンパクトなため場所をとらず、はしごの収納も簡単です。

- 展張レバーを倒し縦棒を軽く引き出すだけで展張、避難が可能になります。
- 壁面に固定されたはしごは揺れが無く、安全でかつ多人数の連続的な避難も可能です。
- 通常時は収納されており意匠的にもスッキリ。また地上からは展張出来ないため防犯性も万全。
- 展張時の張り出しはわずか40cmと非常にコンパクト。狭い場所への設置も可能です。
- 材質はアルミ、耐久性抜群の避難はしごです。
- 外付け（壁付け）のため室内空間を圧迫しません。

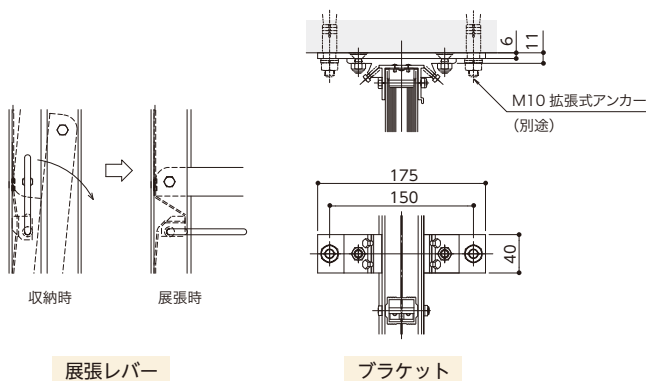
型番

型番	有効長 L (m)	全長 A (m)	実質長 R (m)	重量 (kg)
MD - 3 8	3.3	4.4	3.8	11.5
MD - 4 4	3.9	5.0	4.4	13.2
MD - 5 0	4.5	5.6	5.0	15.0
MD - 5 6	5.1	6.2	5.6	16.7
MD - 6 2	5.7	6.8	6.2	18.4
MD - 7 1	6.6	7.7	7.1	21.0
MD - 8 0	7.5	8.6	8.0	23.6
MD - 8 9	8.4	9.5	8.9	26.2
MD - 9 8	9.3	10.4	9.8	28.8
MD - 1 0 7	10.2	11.3	10.7	31.4
MD - 1 1 6	11.1	12.2	11.6	34.0
MD - 1 2 5	12.0	13.1	12.5	36.5

- 注) 1. はしご長さは最小 3.8m～最大 12.5mまで、上部ユニット、中間ユニット (3.3m、1.8m、1.2m) 下部ユニットの組合わせで、設置場所に合わせた最適な長さが選択できます。(上表)
 2. 展張レバーは各タイプ 1 個が標準でセットされています。複数階 (例えば 3 階と 2 階) で展張を行う場合は「展張レバーセット」1 個を別途ご購入ください。
 3. はしご長さは最上階の避難口 (窓) からの、はしごへの乗り移りを考慮して選択してください。
 4. 本製品が使用できるのは 3 階以下となります。(義務設置の場合) ※固定はしごを 4 階以上の階に設けるときは、落下を防止するための措置が講じられてなければなりません。(但し、安全かつ容易に避難することができる構造のバルコニー等に設けられたものは除く)
 5. 壁面、避難口 (窓) の状況によっては取付けられない場合があります。
 6. 地階から地上階への避難や特殊なご使用方法については当社もしくは販売店にお問い合わせください。

材質

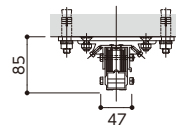
アルミニウム押出型材 + アルマイト



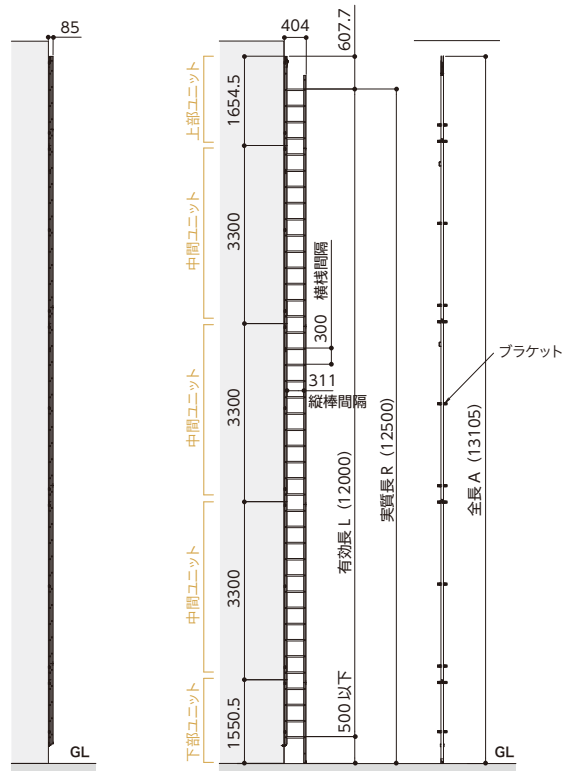
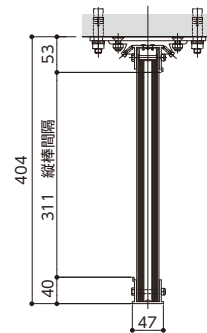
使用方法はこちらから



収納図



展張図



本図は MD-125 タイプの例

国家検定 固定はしご



は第 18～2 号

日本消防検定協会検定品

収納式・多目的はしご「MPラダー」

MP-LADDER

片開きタイプの収納式アルミ製はしごです。屋上設備等の点検や、地階から地上への上り下り、また室内でのロフトの上り下りと、アイデア次第で様々に対応できます。避難器具ではありませんが、避難用（任意設置）※としての使用も可能です。

注）※消防法でいう「避難はしご」には該当しませんので、設置義務がある建物への「避難はしご」としての設置はできません。その場合はレスキューラインをご用命ください。

型番

型番	長さ (mm)	重量 (kg/m)	備考
MP18	1,800	約 2.9	リリースピン付
MP24	2,400		
MP30	3,000		
MP33	3,300		
MP36	3,600		

- はしごは自由に組み合わせができます。設置場所に応じて最適な長さを選択ください。
- はしごの組み合わせにはジョイントセット（繋ぎ部材・横横付）が必要となります。
- 合わせて使用する場合、展開用のリリースピンは原則として1カ所となります。中間部でも展開したい場合はリリースステーションパート（オプション）を組み込んでください。

材質

アルミニウム押出型材 + アルマイト

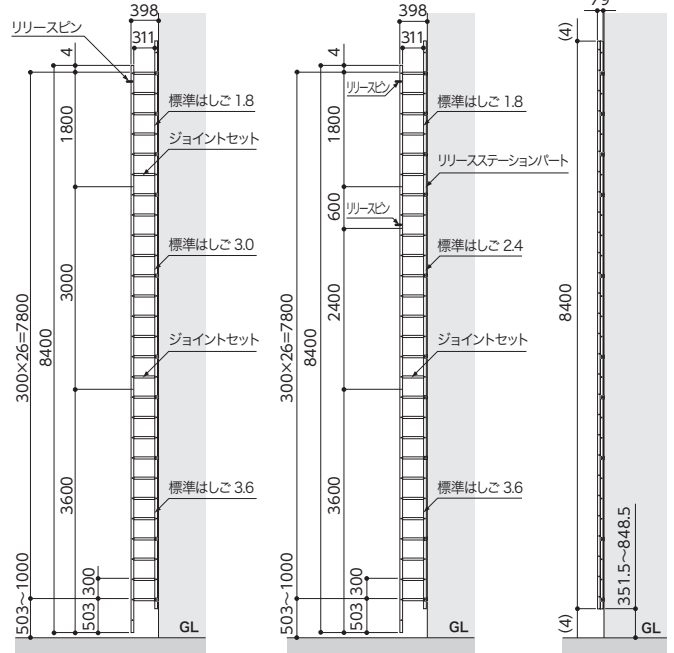
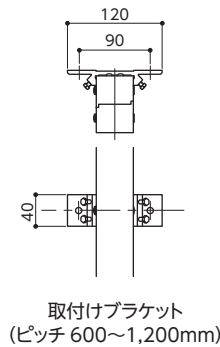
オプション部品

リリースステーションパート

中間展開用の追加部材。（ジョイント部材付 長さ 600mm）
はしご中間部でも展開する場合に標準はしごと合わせて使用します。



図面



標準はしご組合せ例
(MP36+MP30+MP18)

中間部展開タイプ例
(リリースステーションパート組み込み)

収納時

- 取付ける壁の強度を事前に確認ください。強度が不十分な場合は下地を入れるなどの処置をしてください。
- アンカーはΦ6を使用し、下地に対して十分な強度が確保できるアンカーを選択ください。

SF-LADDER

多目的はしご[SFラダー]

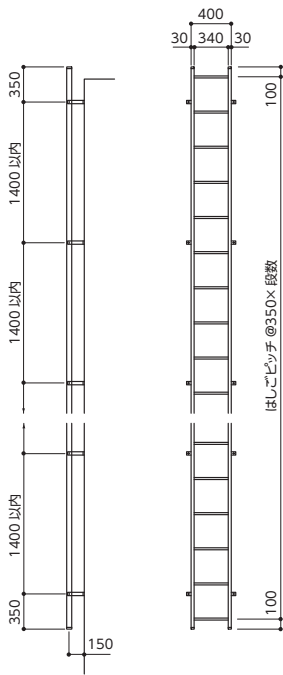
設備等の点検用、避難用※として多目的に使用できるアルミ製はしごです。レスキューラインが施工できないセットバック部分などへも取付けが可能です。はしご本体に加え、R付頂部、背カゴ、セットバック対応等オプション部品も充実しています。

注) ※ SF ラダーを避難用として義務設置する場合は、所轄消防署の確認が必要となります。

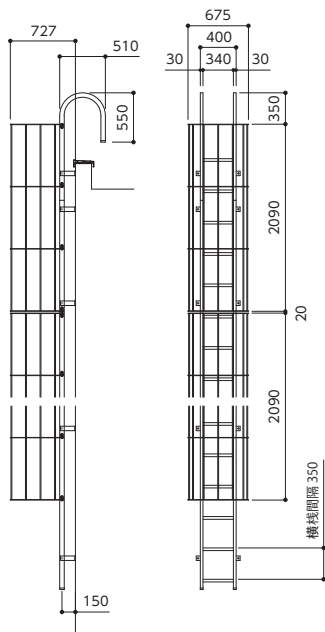
材質

アルミニウム押出型材 + アルマイトクリア

図面



標準タイプ



R付頂部、背カゴをセットした仕様例



特定一階段等防火対象物と避難器具

平成 15 年 6 月 13 日に公布された消防法施行規則の一部を改正する省令によると、「特定一階段等防火対象物」^{*1} に設置する避難器具は次のいずれかに適合しなければなりません。

- ①バルコニーに設置する
 - バルコニーが必要となり居室面積が少なくなる、また既存ビルには適用できない
- ②常時、容易に使用できる状態で設置する
 - 常時使用できる状態では防火上、スペース上、意匠上などで問題がある
- ③一動作（開口部を開く動作及び保安装置を解除する動作を除く）で確実に使用できる
 - レスキューライン FX が該当

4 階以上の階に設置する場合、はしごを使用する際の落下を防止するための措置を講じることで、従来バルコニーへの設置が前提であったり、同一直線上への設置が認められていなかったものが、認められるようになりました。

レスキューライン FX は、「特定一階段等防火対象物」^{*1} 用の避難器具として一動作で確実に使用できることを目的として開発したもので、新築ビルはもちろん、既存ビルへの設置も考慮した画期的な製品です。

※ 1 「特定一階段等防火対象物」（小規模複合用途ビル）とは…

新築、既存ビルとも、次の 1) および 2) の条件に該当するビル

- 1) 特定用途（表 -1 に該当する用途）が 3 階以上もしくは地階に存するもの。
- 2) 階段が 1 つしかないもの（屋外に設けられた階段等であれば免除 図 -1) また、階段が 2 つある場合でも、間仕切り等により 1 つの階段しか利用できない場合（図 -2) も含まれる。

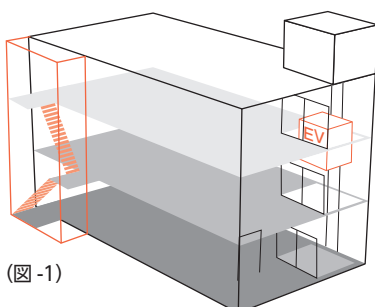
< 参考 >

建築基準法施行令 121 条の規定で階段が 1 つで良い場合の条件：5 階建て以下で居室面積 200m² 以下（耐火構造の場合）*

* 注）非耐火構造の場合は 100m² 以下

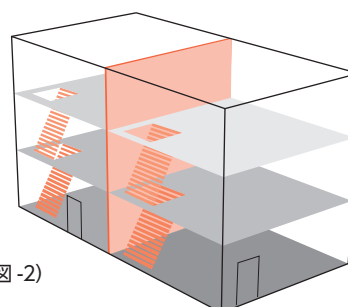
（表 -1）

項	用途
(1)	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場など
	ロ 公会堂、集会場など
(2)	イ キャバレー、カフェ、ナイトクラブなど
	ロ 遊技場又はダンスホール
	ハ ファッションマッサージ、性感マッサージなどの性風俗関連特殊営業を営む店舗
	ニ カラオケボックス、個室ビデオ店、テレクラなど
(3)	イ 待合、料理店、割烹など
	ロ 飲食店
(4)	百貨店、マーケット、物品販売業、展示場など
(5)	旅館、ホテル、宿泊所など
(6)	イ 病院、診療所、助産所など
	ロ 社会福祉施設（避難困難施設）
	ハ その他の社会福祉施設
	ニ 幼稚園又は特別支援学校
(9)	蒸気浴場、熱気浴場、ソープランドなど
(16)	複合用途対象物のうち、その一部が (1) 項から (4) 項まで、(5) 項イ、(6) 項又は (9) 項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの
(16の2)	地下街
(16の3)	建築物の地階（(16の2) 項に掲げるものの各階を除く。）で連続して地下道に面して設けられたものと当該地下道と合わせたもの（(1) 項から (4) 項まで、(5) 項イ、(6) 項又は (9) 項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分が存するものに限る。）



（図 -1）

階段が 1 つしかない場合でも、その階段が屋外に設けられている場合は、対象物になりません。



（図 -2）

階段が 2 つある場合でも、間仕切り等により 1 つの階段しか利用できない場合は対象物と見なされます。

施工例



レスキューライン FX



レスキューライン FX



レスキューライン MD



MP ラダー (任意設置)

警告

- 展張の際には、展張範囲に人がいないことを十分に確認してください。
- はしごを展張する範囲には障害となる物がないよう十分注意してください。展張範囲に障害となる物があった場合には、はしごが正常に展張しない場合があります。
- 握力の弱い人、特に老人や幼児がはしごを使用する際には十分注意してください。
- はしごは下記の状態で使用しないでください。
 - ⊘ 荷物を持って避難はしごを降りないでください。
 - ⊘ すべりやすい「はきもの」ではしごを降りないでください。
 - ⊘ 製品の分解・改造はしないでください。正常に展張しなくなる場合があります。
- 室内への侵入手段として利用されるおそれがあります。展張したはしごから侵入可能な窓などには必ず内側から施錠するなどの防犯対策を行ってください。
- 避難はしご（レスキューラインFX・MD）は6ヶ月に1回の外観／機能点検および1年に1回の総合点検が義務づけられています。専門の有資格者の点検を受けてください。

ナカ工業株式会社 URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

東日本営業推進部 〒110-0014 東京都台東区北上野2-23-5(住友不動産上野ビル2号館5F) TEL03-5826-2716
西日本営業推進部 〒532-0027 大阪府大阪市淀川区田川3-9-36 TEL06-6886-8961

札幌支店 Tel.011-662-7611	特販営業部 Tel.03-5826-2724	大阪支店 Tel.06-6886-8966	海外営業部 Tel.03-5817-7410
仙台支店 Tel.022-239-2511	開発営業部 Tel.048-932-0168	リニューアル営業課 Tel.06-6886-6661	香港支店 Tel.852-25668018
新潟営業所 Tel.025-243-5751	立川営業所 Tel.042-523-9211	広島支店 Tel.082-527-1020	シンガポール支店 Tel.65-66353393
さいたま支店 Tel.048-871-3600	横浜営業所 Tel.045-988-1801	高松営業所 Tel.087-869-9885	
千葉営業所 Tel.043-227-6231	名古屋支店 Tel.052-709-7771	福岡支店 Tel.092-452-8611	
東京支店 Tel.03-5826-2710	金沢営業所 Tel.076-223-8388	鹿児島営業所 Tel.099-256-7766	

〈関係会社〉  ナカテクノナタル株式会社 〒110-0014 東京都台東区北上野2-23-5(住友不動産上野ビル2号館1F) Tel.03-5826-0603
納伽(珠海)建材有限公司 Tel.86-21-64437239

お問い合わせ先

●このカタログに記載の情報は、2022年1月現在の情報です。内容に関しては、予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。●印刷物につき写真の色は、多少異なる場合があります。●取扱説明書・施工マニュアルは別途ご用意ください。●無断転載を禁じます。

2022年1月 KT-JI-13

※カタログ記載の製品は、日本国内の設置に限ります。

